

早稲田大学政治経済学術院
副学術院長

深川 由起子

ふかかわ ゆきこ 早大政経卒、日本貿易振興機構などを経て、米エール大大学院修了。03年東大大学院総合文化研究科教授、06年早大政経学術院教授。前日本学術会議会員。著書「韓国・先進国経済論」で大平正芳記念賞を受賞。61歳。



新型コロナが問う「自由とは何か」

変わりゆく「国家」と「個人」

高校生の頃、「格調高い英語とはこういうもの。1週間で丸暗記せよ」と渡されたのが20世紀・英国の強烈な知性、バートランド・ラッセルの論文「自由とは何か」だった。新型コロナウィルスの急速な世界拡散は再びこの冷戦当時と同じ、「自由とは何か」を問うている。



10日、北京で新型コロナウイルスによる肺炎対策活動を視察する中国の習近平国家主席（ロイター時事）

新型コロナの流行は中国で落ち着く一方、欧州全域で爆発的な勢いを見せるようになった。「深い地域統合」を実現したはずの欧州域内では再び国境が出現し、今やマスクや医療設備さえも融通できない。

米国は欧州に対する国境を閉じ、欧州に大規模支援を申し出たのは中国だった。欧州の危機は中国にとって西欧式自由主義の脆弱さを批判し、同時に武漢を完全封鎖し、野戦病院方式で危機管理を進めた自国の対応力を内外に喧伝する機会でもある。

講壇

株式市場が示す欧米の狼狽は事態をアジアのひとごとと見ていたことによるだろう。だが、危機とはいえず、個人の自由や言論の自由、法治などが浸透した民

主主義社会の対応は中国のようにはいかないし、また、いかせたくもない、という逡巡が結局、初期対応を遅らせた。実際のところ、中国がそもそも感染症のリスクを警告した医師を処分するまじなことをせず、適切に対応していれば、ここまで世界を苦しめることはならなかったはずなのだ。中国とは違う民主主義社会での防疫を喧伝していた韓国政府も、外信記者に感染者の立ち寄り先公開とテラハイパー保護の関係が問われると下を向くしかなかった。

新型コロナの流行は世界の経済社会を大きく変えるだろう。人間の移動が大きく制限される中で、商談から学校の授業、医療に至るまでオンライン化が急速に進み、仮想現実を使ったさまざまなサービスが浮上している。多くの企業はグローバルなサプライチェーンに潜むリスク

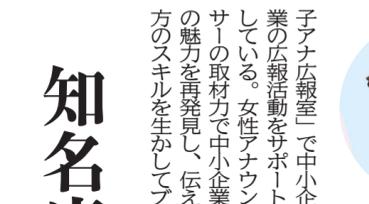
を確立する見通しだ。地方にある中小企業の広報ニーズにも対応できる体制を整う。この事業には、もう一つ目的がある。フリーアナウンサーの中に、結婚・出産などで仕事を離れているもの、働く意欲のある、潜在アナウンサーが少なくない。こうした人たちが経験を生かし、自分の言葉で伝える仕事ができる機会を作りたい。アナウンサーの働き方を変え、ともに、中小企業の課題解決を通して日本を元気にしたいと思っている。

しかしながら、ますます重みを増すのは「自由とは何か」という問いである。中核となる通信では、フリーアナウンサーが象徴するように中国が最先端技術を掌握し、デジタル通貨の実験を繰り返して、データ操作による子ども誕生のデータを握る。だが、それらはあらゆるものの上に共産党が存在する異形の体制下にあるからだ。先進国が個人の持つ権利や個人情報保護、異なる意見の調整を維持しながら、異形の国家と競争し続けるのは容易ではあるまい。救いは中国にとってさえも、異形さが負担になり始めていることなのかもしれない。

企業自らの情報発信が当たり前になった今、特に中小企業は情報戦略が重要と考えている。優れた技術、製品があるのに、世間に知られずにいるのはもったいない。今こそ、情報発信を有効に活用することを真剣に考えるべきだ。

地方中小の熱量伝えたい

トークナビ社長 樋田 かおり



「女子アナが広報」情報戦略の大切さを感じていながらも「メディアへのPRの仕方がわからない」「そもそも自社に強みがあるのか」など、自社の良さに気付いていない中小経営者は多い。そこで中小経営者は、まず自社の取り組みや事業への思いを見える化することを勧めたい。当社は女性アナウンサーが広報代行を行う「女子

子アナ広報室」で中小企業の広報活動をサポートしている。女性アナウンサーの取材力で中小企業の魅力を再発見し、伝え方のスキルを生かして、

な手法の一つといえる。情報発信は社外に対して行うPR手段だが、同時に、社員のモチベーション向上につながることも指摘しておきたい。当社の顧客で静岡にある建設会社はテレビ取材をきっかけに、社内の雰囲気が大きく変わった。注目されることで、自分の会社に誇りを持つようになった。社員同士で会社の良さ、強みを考え始めるようになり、職人の意識も変わったという。

「女子アナ広報室」は東京、大阪、名古屋、福岡での活動だが、6月をめどに全国ネットワーク1の2の3)

といた・かおり 金城学院大学を卒業後、RAB青森放送にアナウンサーとして入社。フリーアナウンサーに転身後、15年トークナビ社長に就任。岐阜市出身、34歳。

Advertisement for 'News Science Research Institute' (新聞科学研究所) with a large graphic showing '21.1pt' and '新聞で防災意識'.

Advertisement for 'Later High-Aged People's Activities' (後期高齢者の活躍) and 'Using Skills in Current Era' (現役時代のスキルを余生に生かす) by author 山崎 和雄.